

「財政 資料」作成

後期高齢者広域連合のHP「財政報告書」から

2024年3月19日

1) 「財政 資料」から

◇、被保険者1人当たりの平均保険料

平成30年と令和4年を比較すると、40,798円が47,925円に、7,127円(17.4%)もの大幅引き上げになっている
(比較年を令和元年と令和4年とすると、その幅は4,973円(11.5%)となる)

◇、単年度収支

毎年大幅の黒字(30億~77億)になっており、全額を翌年度に繰入れ

◇、「基金」

20億円から30億円台で安定して推移している

◇、特徴

- ①保険料の10%以上の大幅な引き上げで被保険者に大きな負担を押し付け
- ②単年度収支の黒字分全額と、「基金」の取り崩しで毎年50億~90億の繰り入れをくりかえしている
- ③「純資産」
「基金」と単年度収支の黒字を合わせると、57億円~90億円の「純資産」があります。

1人平均5000円の引き下げには、9.5億円で可能です
財政の体力は持て余るほどあります。心配ありません

2) これからの作業

- * 広域連合のモデル世帯で、保険料がどれだけ負担増になるか可視化する
- * 所得階層ごとの加入者数
- * 広域連合に国保のようなデータが蓄積された資料冊子があればいいのだが
- * 令和6年保険料引き上げを審議したであろう、議事録の分析(6年2月議会)

後期高齢者医療 財政 資料

2024年3月19日

	保険料率 均等割 所得割	保険料負担		被保険者数 (人)	歳入		歳出		単年度収支 (万円)	基金 (万 円)	純資産 (万円)
		合計 (万円)	1人当たり (円)		繰入金 (万円)	繰越金 (万円)	保険給付費 (万円)	保険事業費 (万円)			
平成30年 (2018年)	39,710 8.07%	785,378	40,798	192,500	142,546	521,185	14,200,145	27,810	419,088	255,391	674,479
令和元年 (2019年)	39,710 8.07%	822,407	42,952	191,471	156,306	419,022	14,456,491	29,135	351,711	221,031	572,742
令和2年 (2020年)	43,100 8.38%	901,857	47,784	188,734	141,474	351,711	14,126,242	31,529	771,886	113,974	885,860
令和3年 (2021年)	43,100 8.38%	906,204	47,736	189,836	131,252	771,886	14,120,550	46,842	658,641	247,020	905,661
令和4年 (2022年)	44,310 8.27%	923,618	47,925	192,719	68,314	658,631	14,666,850	62,331	313,641	348,743	662,384
令和5年 (2023年)	44,310 8.27%					313,641					
令和6年 (2024年)	45,260 9.02%										
令和7年 (2025年)	45,260 9.02%										

三) 秋田県後期高齢者医療広域連合 HP「財政報告書」から作